

術後補助療法適応の観点からみた術前化学療法後の食道癌術後再発に関わる病理学的因子の検討

1. 研究の対象

2013年4月～2023年3月に栃木県立がんセンターで術前化学療法および食道亜全摘術を施行された食道がんの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

術前化学療法後の術後二ボルマブ補助療法の適応として適切な症例を選択するにあたり、上記10年間の間に当院でNAC後食道切除された進行食道癌症例の術後再発に関わる病理組織学的因子を後ろ向きに検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、手術検体 術後経過等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

栃木県立がんセンター 消化器外科 藤田剛

028-658-5151